



ルーラ元大統領への有罪判決とブラジル大統領選挙

- 連邦第4地裁はルーラ元大統領に有罪判決下す。ルーラ氏が10月の大統領選挙に出馬できる可能性は大きく後退。
- 判決を好感して1月24日のブラジル株式は史上最高値を更新。リアル相場も対米ドルで+2.9%のリアル高が進む。
- ルーラ氏は上告により大統領選挙へ出馬する可能性を探るとみられる。ただし、出馬にはなお厳しいハードルが残る。
- 最有力候補の不在で大統領選挙の見通しは混とんとなる可能性。中道政党が統一候補を擁立できるかが焦点に。

控訴審でルーラ元大統領に有罪判決下る

ブラジルの連邦第4地方裁判所は1月24日、ルーラ元大統領に対して収賄・資金洗浄の罪で禁固12年1カ月の有罪判決を下しました(3名の判事の全会一致)。2017年7月のパラナ州連邦地裁(第一審)に続いての有罪判決となり、控訴審で有罪となった候補者の大統領選挙出馬を禁じる法律の規定により、ルーラ氏が10月の大統領選挙に出馬できる可能性は大きく後退したとみられています。

判決を好感してブラジル株式は史上最高値更新

判決を受けてルーラ氏が主導する左派勢力の影響力後退が示唆されたことで、1月24日のブラジル株式市場では主要株価指数のボブスバ指数は前日比+3.7%の大幅上昇となり、史上最高値を更新しました。また、同日のリアル相場は対米ドルで+2.9%のリアル高が進みました。

ルーラ氏の大統領選出馬には厳しいハードル残る

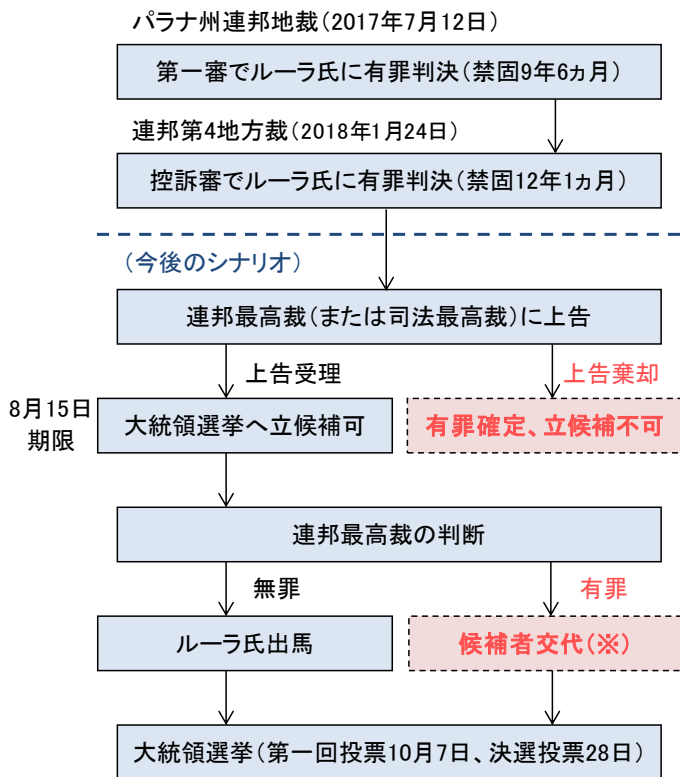
ルーラ氏は今後、連邦最高裁などに上告することで10月の大統領選挙へ出馬する可能性を探るとみられます(図1)。ただし、ルーラ氏の出馬には、①連邦最高裁(または司法最高裁)による上告受理、②8月15日までの大統領選挙への立候補申請、③連邦最高裁による無罪判決、などの厳しいハードルを越える必要があります。

大統領選挙の見通しが混とんとなる可能性

大統領選挙に関する最新世論調査では、ルーラ氏は34%と圧倒的な支持率を誇る一方、不支持率も39%と高く、ルーラ氏への国民の評価は二分されています。

ルーラ氏が大統領選挙戦から脱落すれば、最有力候補の不在により大統領選挙の見通しは混とんとなる可能性があります。支持率2位のボルソナロ氏(極右議員)は政党支持基盤が弱いなどの問題を抱えており、今後は中道政党が統一候補を擁立できるかが焦点となりそうです。

図1:ルーラ裁判を巡る今後のシナリオ



(出所)各種報道 (※)候補者交代は選挙の20日前までが条件。

図2:ブラジル大統領選挙に関する世論調査

候補者	政党	職務・経歴	知名度	支持率	不支持率
ルーラ	PT	元大統領	99%	34%	39%
ジャイル・ボルソナロ	PSL	下院議員	70%	17%	28%
マリナ・シルバ	REDE	元環境相	90%	9%	24%
ジェラルド・アルキミン	PSDB	サンパウロ州知事	85%	6%	27%
シーロ・ゴメス	PDT	元セアラ州知事	79%	6%	22%
ジョアキン・バルボサ	無所属	元最高裁長官	54%	5%	15%
ミシェル・テメル	MDB	大統領	95%	1%	71%
エンリケ・メイレレス	PSD	財務相	48%	1%	22%

(出所)Datafolha (注)調査時点は2017年11月29-30日。

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。